

Ocean Street

コンセプト：幻想的、非現実的な空間

海底がどうなってるかよくわからない → 夢のある場所

海底をイメージした暗い部屋の中に、不思議な海洋生物(約10個)が配置してある。

その一つ一つに光センサーがついていて、来場者がライトで照らすと反応し動きながら音を鳴らす。(曲または効果音)

光に反応するものの中には、さらに自分から光を放って周りにいる物体を作動させるものもある。

それによって2つ以上の音が同時に鳴ってハーモニーになる。

リアルな音というよりは、機械的な電子音がいい。シンセサイザーの様な音。

海洋生物は透明度のあるプラスチック製。(内側から光らせるため)
床に置いてあったり天井から吊るされてゆらゆらしてたり、さまざま。

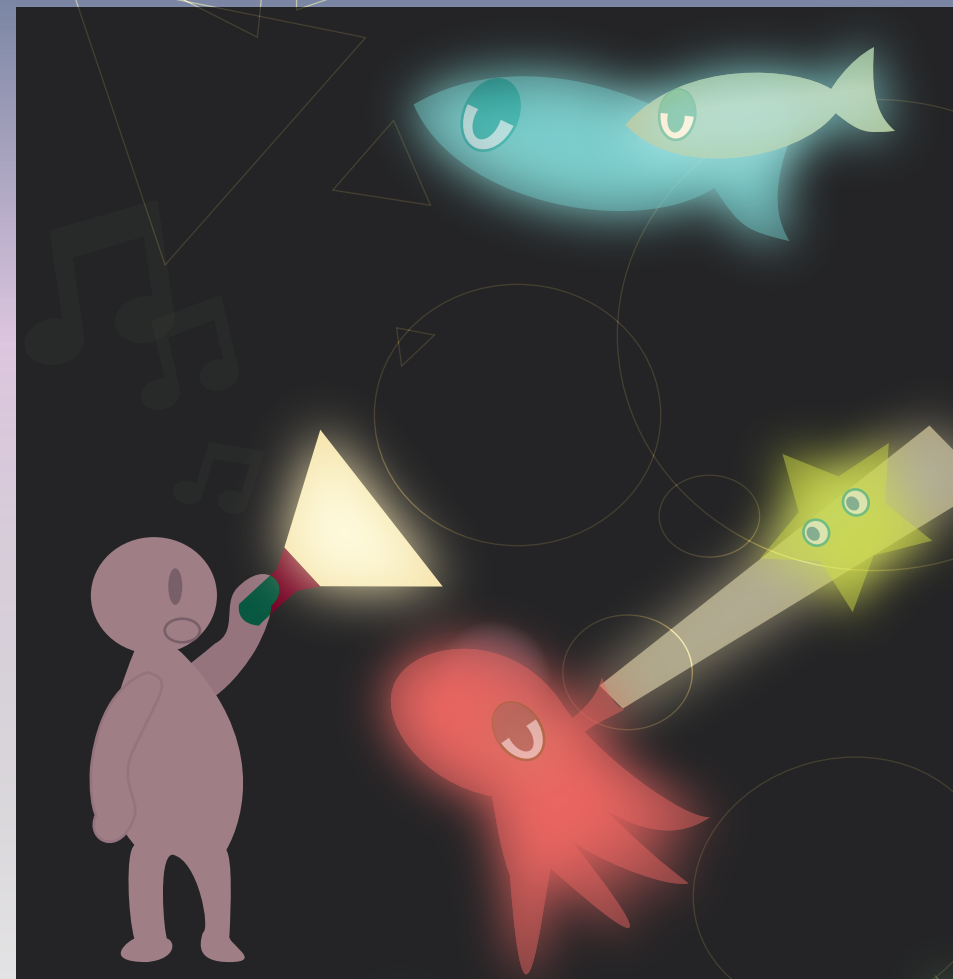
または、

壁や床にセンサーだけを取り付けて、照らされると映像が投影される。
この方が複雑な動きがつけられ、何が出てくるかわからない感があるが、平面的になってしまう。

体験者だけでなく周りに居る人も、なにが出てくるかわからないわくわく感と、
幻想的な雰囲気と音を楽しむことが出来る。

使用ツール：光センサー、Max/MSP、FLASH

光を当てるとゆらゆらしながら音が出る



自ら発光するものもある